

科目名	地理 Geography			担当教員	細谷 守		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	10220002	単位区別	履修
学習目標	現代社会の空間事象のあり方、展開の状況を教科書・統計表・地図帳等を通して理解し、関心を持って直視できる姿勢を身につける。又、現代社会には地球的課題が存在し、その解決のためには国際協力が必要であることを理解する。						
進め方	各学習項目ごとに、教科書・地図帳・Aノート他を利用し、キーワードの確認・理解・延長へと学習内容を進めていく。又、授業には参加型学習の形態を取り入れ、興味関心を強めるよう指導する。そして、現代社会の問題点が地域から全体へ、過去から現代に通じるものであるという共時的・通時的考えを身につけさせることにより、我々の行動に責任が要求されていることを自覚させる。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 球面上の世界と地域構造 (2) 2. 世界地図の種類と特徴 (2) 3. 時差の求め方 (2) 4. 国家と地域区分 (2) 5. 消費行動の変化と地域差 (2) 6. 中国の生活・文化 (2) 7. 東南アジアの生活・文化 (2)			地図を利用し地球の特質を理解する。また、世界の中での日本の位置の把握と領域等の現状を理解する。 A3:1 中国・東南アジア等の近隣地域の生活・文化の実態を理解し、共生の考えを身につける。 A1:3			
	[前期中間試験] (1)						
	8. 試験問題の解答 (1) 9. 試験問題の解答, 世界を結ぶ交通 (2) 10. 世界を一つに結ぶ通信 (2) 11. 国際化する人々の移動 (2) 12. 拡大する世界の貿易 (2) 13. さまざまな余暇活動 (2) 14. インドの生活・文化 (2) 15. 西アジアの生活・文化 (2)			人・物・情報の移動に伴う世界の結びつきを理解する。 A1:1, A3:2 現代社会における行動権の拡大と地域差, 現状を理解する。A3:4 南アジア・西アジアの地域的特性を理解する。 A1:3			
	前期末試験						
	16. 試験問題の解答 (1) 17. 世界の人口問題 (2) 18. 世界の食料問題 (2) 19. 世界の都市・居住問題 (2) 20. 世界の資源・エネルギー問題 (2) 21. アフリカの生活・文化 (2) 22. ラテンアメリカの生活・文化 (2)			気候・気候等の自然環境を学び、人間生活との関わりを理解する。 A3:1 世界に生じている人口・食料・都市・居住・資源・エネルギー問題を理解する。 A3:1			
	[後期中間試験] (1)						
	23. 試験問題の解答 (1) 24. 近隣諸国の大気汚染への取り組み (2) 25. 近隣諸国の森林破壊への取り組み (2) 26. ヨーロッパの生活・文化 (2) 27. ロシアの生活・文化 (2) 28. アメリカ合衆国の生活・文化 (2) 29. 韓国の生活・文化 (2)			環境問題に関心を深め、宇宙船地球号としての各国の協力と共生による地球環境の維持の大切さを理解する。 A1:2 様々な地域の特徴を理解する。 A1:3, 4			
	後期末試験						
	30. 試験問題の解答 (1)						
評価方法	定期試験 70%, 作業ノート・課題レポートの提出等 30%の比率で総合評価する。						
履修要件	特になし。						
関連科目	歴史 (1年), 歴史・倫理社会 (2年) → 政治経済 (3年)						
教材	教科書「高等学校 新地理A 初訂版」, 「基本地図帳 改訂版」, 教材「高等学校 新地理ノート 初訂版」						
備考	特になし。						